

平成23年9月1日

全日本実業柔道個人選手権大会 90kg級で花本選手が優勝！2階級制覇！

8月27日、28日の2日間にわたり、ベイコム総合体育館（兵庫県尼崎市）を会場に、第41回全日本実業柔道個人選手権大会が行われ、男子90kg級に当社柔道部の花本隆司選手が出場し優勝しました。昨年の同大会81kg級での優勝に続き、2階級制覇となりました。



決勝戦で小外刈りの一本を決める花本選手(右)



優勝の賞状を手にする花本選手

41回目を迎えた実業柔道の個人日本一を決める同大会は、男子8階級、女子7階級で争われ、史上最多となる748人が出場し2日間にわたり熱戦が繰り広げられました。

当社柔道部からは、男子=73kg級(初日)・81kg級(同)・90kg級(2日目)・100kg級(同)・100kg超級(同)に合計10選手が出場しました。

その結果、90kg級(出場73選手)に出場の花本選手が、昨年の同大会81kg級での優勝に続き、2階級を制覇しました。

初戦の2回戦(対望月選手/ワイエスフード)からスタートした花本選手は、相手選手の指導を誘い終始優勢に試合を進め、残り1分腰車で一本勝ち。続く3回戦(対河添選手/旭化成)は拮抗した試合運びとなり、勝負はゴールデンスコアの延長戦へもつれるも、得意の背負い投げで有効を奪い優勢勝ち。4回戦(対浜野選手/三菱重工・名古屋)は、小外刈りで技有を先取りし、背負い投げで一本勝ち。準々決勝(対三宅選手/ナチュラル)は開始早々に体落として技有を先取りすると、大外刈りで一本勝ち、昨年と同じ顔合わせとなった準決勝(対法兼選手/ALSOK)は、試合が進むうちに力強さを増した花本選手が試合時間を3分以上残し大外刈りで一本勝ちを収め、決勝戦に駒を進めます。決勝戦(対矢寄選手/月江寺柔道クラブ)では、積極的に技を繰り出し開始2分26秒に小外刈りを決め、一本勝ちで優勝を手にしました。